

「友達に文房具セットをプレゼントしよう」(5時間扱い)

Let's Try! 2 Unit 5

授業者 安彦 有里恵

1. 外国語活動の目標、見方・考え方、本単元の目標、育成すべき資質・能力を踏まえた単元の評価規準

外国語活動の目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方		
	外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること。		
	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
	外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。	身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。	外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
本単元の目標	文房具を表す語句、表現に慣れ親しみ、持っている文房具の種類や数、好きな色などについて伝え合ったり、持っている文房具を紹介したりしながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする。		
	文房具について友達に質問したり質問に答えたりしながら、文房具の種類や数、好きな色などを伝え合うための簡単な語句、表現に慣れ親しんでいる。	友達のための文房具セットを作るために、どんな文房具を持っているか、どんな色が好きか等を考えて質問したり答えたりしている。また、文房具の紹介に必要となる簡単な語句、表現を選んで話したりしている。	友達に贈る文房具を選んだり、もらった文房具を紹介したりするために、相手意識をもって伝え合おうとしている。
	評価 1	評価 2	評価 3

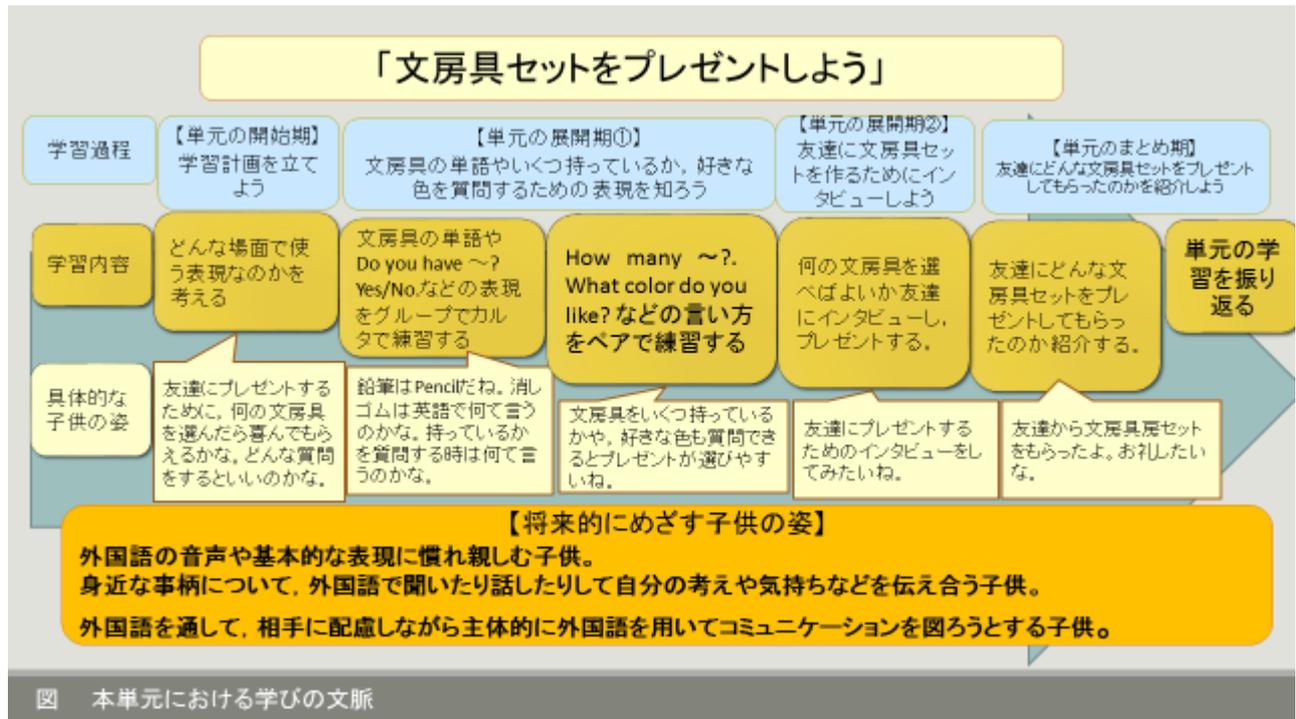
2. 単元について

本単元では、文房具などを表す語句、表現に慣れ親しみながら、友達の誕生日に文房具セットをプレゼントするため、主体的にコミュニケーションを図ることを目標とした学習活動を展開する。友達と文房具に関する質問をし合ったり、質問をしてわかったことを基に友達に贈る文房具を選んだり、友達からもらった文房具を紹介したりする活動を展開する単元を構想する。

子供たちが目標に向かって主体的に学ぶことができるよう、「友達の誕生日に文房具セットをプレゼントしよう」という明確な単元のゴールイメージを設定する。これにより子供たちは目的意識をもって伝え合う必要感をもつ。さらに友達と対話しながら学ぶことができるよう、文房具セットを贈る相手をくじで決める工夫も試みる。これにより子供たちは文房具セットを贈る相手が誰になっても、相手に喜んでもらえるような文房具を選ぶため、友達が今持っている文房具は何か、鉛筆はいくつ持っているか、好きな色は何か等を知るべく、相手意識をもって伝え合う必要感をもつと考える。

3. 研究との関わり

(1) 単元における、資質・能力の育成を支える「学びの文脈」



(2) 「学びの文脈」を生み出し、つなげる具体的手立て 以下下線は、資質・能力とのつながり

手立て① 明確な単元のゴールイメージの設定、振り返りの活用

子供の主体的な学びを促すために、「友達の誕生日に文房具セットをプレゼントしよう」を単元のゴールイメージとして設定する。この身近な暮らしに関わる場면을扱うことによって、子供は課題を明らかにし、見通しをもって学ぶことができるようになる。友達に文房具セットをプレゼントするために、鉛筆は何本持っているか、好きな色は何色かななどの相手の好み等に関心を持ち、相手意識・目的意識を明確にしてプレゼントを選ぶことにつながる。この活動により、子供は主体的に学習に臨むであろうと考える。

また、子供が学習の振り返りを活用し、成果を実感し次のめあてを設定できるよう、振り返りカードの中にわかったことや次に生かしたいこと等の項目を設ける。これにより、子供の必要感に応じた学習を展開できるようにする。

手立て② インフォメーションギャップを埋め合う会話場面の設定

いろいろな友達と会話をする必要感をもつことができるよう、プレゼントをする相手をくじで決める。くじでプレゼントをする相手が決まることで、相手の好みが変わらないから、質問したいという思い（インフォメーションギャップを埋め合う必要性）が生まれ、友達が持っている文房具の種類や数、好みを知るために友達同士で情報収集を行うと考える。

手立て③ 相手意識を高めるポイントの設定

子供たちが相手意識を高めることができるよう、会話する時に大切なポイントを設定する。例えば greeting, eye contact, smile, clear voiceなどを意識しながら学習を続け、自分の考えや気持ちが伝わり、相手にわかってもらえるような会話を目指す。

また、友達の会話を見ることで、どんなところがよかったかを全体で共有し、ポイントを自分の会話に活かしていけるようにする。これにより、相手意識を働かせながら行う会話を目指す。

(3) 「学びの文脈」を重視した単元計画

	学習活動 (o) と子供の姿	教師の支援 (☆) と評価 (◇)
開始期 (1時間目)	<p>○ 友達の誕生日に文房具を買おうとしている人の絵を見て、どんなことを考えているのか考え、学習計画を立てる。</p> <p>友達のために文房具を買おうとしているね。 何を買おうか迷っているみたいだね。</p> <p>○ 友達と会話している絵を見て、どんな会話をしているか想像する。</p> <p>何が好きかを質問しているみたいだね。 絵を見ると、ペンを持っているか質問しているみたいだよ。</p> <p>なるほど。友達のために、何を選んだら喜んでもらえるかを考えて質問しているんだね。</p> <p>○ 単元テーマを設定し、共有する。</p>	<p>☆ <u>学習内容への興味・関心を喚起し、単元のゴールイメージを見出すことができるような教材を用意する。</u> 【手立て①】</p> <p>☆ 主体的に学習を進めていくことができるよう、提示する場面絵から考えられる会話を想像するよう促す。</p> <p>☆ 単元の学習の見通しをもつことができるよう、課題を提示する。</p>
	<p>友達の誕生日によるこんでもらえるような文房具セットをプレゼントしよう。</p> <p>○ 学習計画を立てる。</p> <p>文房具は英語で何て言うのか知りたいな。 鉛筆は pencil だね。消しゴムは英語で何て言うのかな。</p> <p>文房具をいくつか持っているかを質問するのは、英語でどう言えばいいのかな。 何色が好きかを質問するとき、英語でどう言ったらいいのかな。</p>	<p>☆ <u>主体的に学習計画を立てられるよう、子供たちの気付きや言葉を取り上げながら、指導事項との整合性を図っていく。</u> 【手立て①】</p>
展開期 (2～4時間目)	<p>○ 文房具をいくつか持っているかを質問する場面を考え、質問や答えを考える。</p> <p>今日は、文房具をいくつか持っているかを英語で何て言うのか知りたいな。 たくさん持っている物よりも、あまり持っていない文房具を選んだ方が相手は喜んでくれそうだね。</p>	<p>☆ <u>相手意識・目的意識を明確にし、相手の持ち物に関心をもつことができるよう、友達が文房具を持っているかどうかを質問する学習を設定する。</u> 【手立て①】</p>
	<p>友達がいくつか文房具を持っているかを知るために、英語でインタビューをして情報を集めよう。</p> <p>○ 持っている文房具の種類や数について、会話している場面の動画視聴をし、ペア等で英語の音声を聞いたままに真似していく。</p> <p>いくつか持っているかを質問するときは、How many～?と言うんだね 2つ持っているときはTwo.と言うんだね。</p> <p>○ 持っている文房具の種類やその数について、友達に質問したり、質問に答えたりする。</p> <p>〇〇さんに鉛筆を何本持っているかを質問しよう。How many pencils do you have? I have four. 〇〇さんはどうなのかな。How about you?</p> <p>4本だと足りないかも。1本プレゼントしたいな。</p> <p>○ 本時の学習の内容を振り返り、交流する。</p> <p>文房具をいくつか持っているかを英語で何て言うのがわかったよ。 答え方もわかったよ。好きな色を質問するとき英語でどう言えばいいのか知りたいな。</p>	<p>◇ ペアでの会話を繰り返しながら、How many ~do you have?で質問をしたり、質問に答えたりしている。 【評価①】</p> <p>☆ いくつか持っているかを質問したり、答えたりすることができるよう、必要となる語句、表現を押さえる場を設ける。</p> <p>☆ <u>友達の文房具をいくつか持っているか必要感をもって質問することができるよう、インフォメーションギャップを埋め合う会話場面を設定する。</u> 【手立て②】</p> <p>☆ <u>相手意識を高めることができるよう、会話する時に大切なポイント (greeting, eye contact, smile, clear voice など) を設定する。</u> 【手立て③】</p>

	<p>友達の好きな色を知るために、英語でインタビューをして情報を集めよう。</p> <p>○好きな色について、会話している場面の動画視聴をし、ペア等で英語の音声聞いたままに真似していく。</p> <p>好きな色を質問するときは What color do you like? だね。</p> <p>3年生までに使ってきた blue や red など色を表す語を思い出そう。</p> <p>○好きな色について、友達に質問したり、質問に答えたりする。</p> <p>〇〇さんにプレゼントする鉛筆、何色がいいかな。質問してみよう。</p> <p>最近は緑がお気に入り。 I like green!</p> <p>○本時の学習の内容を振り返り、交流する。</p> <p>好きな色を質問するとき英語で何て言うのがわかったよ。</p> <p>答え方もわかったよ。今まで習った言い方を友達に質問してプレゼントを選んでみたいな。</p>	<p>◇ペアでの会話を繰り返しながら、What color do you like? で質問をしたり、I like ~. で答えたりしている。 【評価1】</p> <p>☆好きな色を質問したり、答えたりすることができるよう、必要となる語句、表現を押さえるとともに、ペア等での会話を行う場を設ける。</p> <p>☆友達の好きな色を必要感をもって質問することができるよう、インフォメーションギャップを埋めあう会話場面を設定する。 【手立て②】</p> <p>☆相手意識を高めることができるよう、会話する時に大切なポイント (greeting, eye contact, smile, clear voice など) を想起するよう促す。 【手立て③】</p>
<p>本時</p> <p>展開期 (2~4時間目)</p>	<p>○前時までの学習内容を振り返る。</p> <p>How many pencils do you have? と質問して、〇〇さんはたくさん持っていることがわかったよ。</p> <p>友達が喜んでくれるプレゼントを用意したいな。</p> <p>友達が持っている文房具の数や好みの色等についてわかったことをもとに、その友達が喜んでくれるような文房具セットを用意してプレゼントしよう。</p> <p>○くじで質問する相手を決め、文房具についてインタビューし、わかったことをもとに文房具セットを作り、プレゼントを渡す。</p> <p>〇〇くんは、ノートを持っていないことがわかったよ。</p> <p>〇〇さんは、赤いペンを持っていたから、違う色のペンをあげようかな。</p> <p>○本時の学習の内容を振り返り、交流する。</p> <p>〇〇さんは紫色が好きだから、紫色のペンケースをあげたら喜んでくれたよ。</p> <p>〇〇くんは定規をもっていなかったから、定規をあげたので喜んでくれてうれしかった。</p>	<p>◇持っている文房具の種類や数、好みの色等について、質問したい内容に合う慣れ親しんだ語句、表現を使って質問したり、質問に答えたりしている。 【評価2】</p> <p>☆好きな色を質問したり、答えたりすることができるよう、単元の学習で慣れ親しんだ語句、表現を想起する場を設ける。</p> <p>☆友達の好みの色等について必要感をもって質問することができるよう、くじで会話をする相手を決め、インフォメーションギャップを埋め合う会話場面を設定する。 【手立て②】</p> <p>◇友達に自分の思いが伝わるように、相手意識をもって質問をしたり答えたりしようとしている。 【評価3】</p> <p>☆相手意識を高めることができるよう、会話する時に大切なポイント (greeting, eye contact, smile, clear voice など) を確認するよう促す。 【手立て③】</p> <p>☆贈った相手が喜んでくれるようなプレゼントを選ぶことができるよう、子供たちの気付きや言葉を取り上げながら、プレゼントを選ぶためのポイントを伝える。</p>
<p>まとめ期 (5時間目)</p>	<p>友達からどのような文房具セットをプレゼントしてもらったのか紹介しよう。</p> <p>○友達からどのような文房具をセットをもらったのか発表する。</p> <p>〇〇さんの好きな黄色のペンケースを選んだよ。英語で、This is a yellow pen case. と言うんだね。</p> <p>私は〇〇さんのために赤いペンを選んだよ。英語で言うと、This is a red pen. と言えばいいね。</p> <p>○単元の学習の内容を振り返り、交流する。</p> <p>What ~ do you like? はいろいろ使えそうな質問の表現だね。</p> <p>今度は友達の誕生日も質問して、それに合わせてプレゼントを用意したいな。</p>	<p>☆学習の振り返りを活用し、成果を実感できるように、子供の必要感に応じた学習を展開する。 【手立て①】</p> <p>◇友達のために作った文房具セットをどんなセットにしたのかを発表しようとしている。 【評価3】</p> <p>☆相手意識を高めることができるよう、会話する時に大切なポイント (greeting, eye contact, smile, clear voice など) を確認するよう促す。 【手立て③】</p> <p>☆達成感や有用感を感じられるよう、振り返りの場面で、課題と照らし合わせた学習の成果のフィードバックを行う。 【手立て①】</p>

(4) 本時案 (4/5)

学習活動 (○) と子供の姿		教師の支援 (☆) と評価 (◇)
<p>○ Warm Up を行う。</p> <p>今日は友達のために選んだ文房具をプレゼントするのだから、気持ちよく手渡しできるといいな。</p> <p>物を手渡すときに Here you are. / Thank you. の言葉があると心がこもるよね。</p>		<p>☆ コミュニケーションを図るために必要となる簡単な語句、表現に慣れ親しみ、相手意識をもって対話することができるよう、本単元の帯的な活動として Warm Up を設定する。</p>
<p>○ 動画で記録した友達の会話を見て、前回まで学習した質問するための表現や答えるための表現等を振り返る。</p> <p>Do you have a red pen? と質問したら、No. と答えていたよ。赤ペンをもってないんだね。</p> <p>How many pencils do you have? と質問して、○○さんはたくさん持っていることがわかったよ。</p>		<p>☆ 文房具について持っている種類や数、好きな色などを質問する表現や、答える表現を想起できるよう、活動の様子を記録した動画や掲示物などを視聴しながら振り返る場を設ける。</p>
<p>○ 本時の課題について考え、学習の見通しをもつ。</p> <p>前に○○さんに What color do you like? と質問したら、青色が好きだと言ってたよ。他の色はどうか。他にも必要な文房具はないかな。</p> <p>友達に英語で質問して、友達の好みにあった文房具や足りなそうな文房具を選んでプレゼントしよう。友達に喜んでほしいな。</p>		<p>☆ <u>より主体的に課題に取り組めるよう、子供の振り返りの言葉から、課題を設定する。</u> 【手立て①】</p>
<p>友達が持っている文房具の数や好みの色等についてわかったことをもとに、その友達が喜んでくれるような文房具セットを用意してプレゼントしよう。</p>		
<p>○ くじで質問する相手を決め、文房具についてインタビューし、わかったことをもとに文房具セットを作る。</p> <p>S1: Hello. Do you have a red pen? S2: Yes I do. / No, I don't.</p> <p>S1: How many pens do you have? S2: I have three pens.</p>		<p>◇ 持っている文房具の種類や数、好みの色等について、質問したい内容に合う慣れ親しんだ語句、表現を使って質問したり、質問に答えたりしている。 評価 2</p>
<p>S1: What color do you like? S2: I like red.</p> <p>S1: Thank you! See you. S2: See you.</p>		<p>☆ <u>友達の好みの色等について必要感をもって質問できるよう、くじで会話をする相手を決め、インフォメーションギャップを埋め合う会話場面を設定する。</u>【手立て②】</p>
<p>○○くんは、ノートを持っていないことがわかったよ。</p> <p>○○さんは、赤いペンを持っていたから、違う色のペンをあげようかな。</p>		<p>◇ 友達に自分の思いが伝わるように、相手意識をもって質問をしたり、友達の質問に答えたりしようとしている。 評価 3</p>
<p>○ 用意した文房具セットをプレゼントする。</p> <p>This is for you. Here you are. 手渡すときも Smile や Eye Contact を忘れずに。喜んでもらえるといいな。</p> <p>Thank you! よかった。自分が今持っているがちゃんと伝わっていた。好きな色もわかってもらえたよ。</p>		<p>☆ <u>相手意識を高めることができるよう、会話する時に大切なポイント (greeting, eye contact, smile, clear voice など) を確認するよう促す。</u> 【手立て③】</p>
<p>○ 振り返りカードに記入し、交流する。</p> <p>○○さんは紫色が好きだから、紫色のペンケースをあげたら喜んでくれたよ。</p> <p>○○くんは定規をもっていなかったから、定規をあげたので喜んでくれてうれしかった。</p>		<p>☆ 贈った相手が喜んでくれるようなプレゼントを選ぶことができるよう、子供たちの気付きや言葉を取り上げながら、プレゼントを選ぶためのポイントを伝える。</p>
<p>家族の誕生日が近づいたら、英語の勉強だと言って本当にインタビューしてみようかな。プレゼントを用意できるよ。</p> <p>他のみんながもらった文房具セットの中身はどうだったのかな。もらったプレゼントの発表会をしてみたいね。</p>		<p>☆ <u>達成感や有用感を感じられるよう、振り返りの場面で、課題と照らし合わせた学習の成果のフィードバックを行う。</u>【手立て①】</p>